



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（代表）

担当者の所属・氏名：消化器内科 横須賀亮介

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 横須賀亮介

大腸憩室出血の方を対象とした止血方法に関する研究

1.研究の対象

2020年3月から2023年2月までに当院で大腸憩室出血の診断を受け、下部消化管内視鏡検査を受けられた方。

2.研究の目的・方法

近年大腸憩室出血は増加傾向にあります。出血された方のうち、約75%の方は自然に出血が止まりますが、出血が続き内視鏡的止血が必要になる場合があります。その内視鏡的止血を助ける手法のひとつとして Gel immersion 法が挙げられます。

Gel immersion 法とは、止血の際の視界をクリアにするために人体に害のないゲルを用いて出血部分を確認する方法です。今回 Gel Immersion 法を受けられた方を調査することで、その有効性を明らかにすることを目的としています。

調査期間は研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

・主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、性別、出血部位、内視鏡所見、治療の有効性等